

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 5 区分
 【発行日】平成23年8月18日 (2011.8.18)

【公開番号】特開2010-132102(P2010-132102A)
 【公開日】平成22年6月17日 (2010.6.17)
 【年通号数】公開・登録公報2010-024
 【出願番号】特願2008-309228(P2008-309228)
 【国際特許分類】

B 6 0 T 13/74 (2006.01)

B 6 0 T 11/20 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 13/74 Z

B 6 0 T 11/20

【手続補正書】
 【提出日】平成23年6月10日 (2011.6.10)

【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

ブレーキペダルの操作量に基づいてブレーキ制御を行う作動油の液圧を発生する油圧制御機構と、

前記油圧制御機構のハウジングと、

ブレーキ操作に基づいて、モータを制御するモータ制御ユニットと、を有し、

前記油圧制御機構は、

前記モータの回転軸に沿う方向に移動するピストンと、

前記ピストンの移動に基づき動作油の油圧を発生するマスタシリンダと、

前記モータの回転トルクに基づいて前記ピストンを前記モータの回転軸に沿う方向に移動させる移動機構と、を有し、

前記モータ制御ユニットが前記ハウジングの外周に固定され、

前記モータ制御ユニットは前記ピストンの移動軸に沿って長い形状のケースを有し、

前記モータ制御ユニットの前記ケースの前記マスタシリンダ側と前記油圧制御機構の外周との間に空間が形成されているブレーキ制御装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のブレーキ制御装置であって、

前記モータ制御ユニットの前記ケースには、その前記油圧制御機構側に開口が形成され

、
前記油圧制御機構のハウジングには、その前記モータ制御ユニット側に開口が形成され

、
前記モータ制御ユニットは、前記モータ制御ユニットの前記ケースに形成された開口と前記ハウジングに形成された開口とが対向するように、前記ハウジングに固定されているブレーキ制御装置。

【請求項 3】

請求項 1 に記載のブレーキ制御装置であって、

前記モータ制御ユニットにフィンを有するブレーキ制御装置。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のブレーキ制御装置であって、
前記モータ制御ユニットのケースは金属製であり、空間を介して前記油圧制御機構に対
向する前記ケースの外側面にフィンが形成されているブレーキ制御装置。

【請求項 5】

請求項 2 に記載のブレーキ制御装置であって、
前記油圧制御機構のハウジングは、前記モータを収納しており、
前記モータは固定子と回転子とを有し、前記固定子は前記ハウジングの内側に固定され
、
前記モータ制御ユニットのケースに形成された開口および前記ハウジングに形成された
開口を介して前記モータ制御ユニットから前記モータの固定子に電力が供給されるブレー
キ制御装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のブレーキ制御装置であって、
前記ハウジング内に前記モータの回転子の磁極の位置を検出する検出器が収納され、
前記検出器から検出結果が、前記モータ制御ユニットのケースに形成された開口および
前記ハウジングに形成された開口を介して前記モータ制御ユニットに送られるブレーキ制
御装置。

【請求項 7】

請求項 5 に記載のブレーキ制御装置であって、
前記モータの前記回転子は、磁極を形成するための永久磁石を有する第 1 の部分と前記
第 1 の部分より半径の小さい第 2 の部分とを有し、
前記第 1 の部分と前記第 2 の部分とが、モータの回転軸方向配置されて前記回転子を形
成している、ブレーキ制御措置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

ブレーキ制御装置は、ブレーキペダルの操作量に基づいてブレーキ制御を行う作動油の
液圧を発生する油圧制御機構と、油圧制御機構のハウジングと、ブレーキ操作に基づいて
、モータを制御するモータ制御ユニットと、を有し、油圧制御機構は、モータの回転軸に
沿う方向に移動するピストンと、ピストンの移動に基づき動作油の油圧を発生するマスタ
シリンダと、モータの回転トルクに基づいてピストンをモータの回転軸に沿う方向に移動
させる移動機構と、を有し、モータ制御ユニットがハウジングの外周に固定され、モータ
制御ユニットはピストンの移動軸に沿って長い形状のケースを有し、モータ制御ユニット
のケースのマスタシリンダ側と油圧制御機構の外周との間に空間が形成されている構成を
成している。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】